

協賛企業

Global Premier Supporter



Platinum supporter



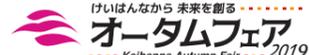
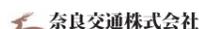
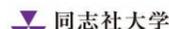
Gold Supporter



Silver supporter



Promotion supporter



KYOTO SMART CITY EXPO 2019

安寧で持続的な未来を創る地域と産業

～「超快適」スマート社会の創出～

ICTを基盤に環境・エネルギー、交通、健康、文化・教育など、スマートシティ分野における国内外の専門家・研究者が京都・けいはんなに集結。国内外の企業、自治体との交流を通じ、持続可能な開発目標(SDGs)が目指す「誰一人取り残さない」社会の実現に貢献します。

入場無料



2019.10.3 Thu・4 Fri
10:00～17:00

会場 けいはんな学研都市
(京都府木津川市・精華町)
けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)、
けいはんなプラザ 等

14th けいはんな ビジネスメッセ2019

会期: 10.3木 → 4金 10:00～17:00
会場: けいはんなロボット技術センター
(けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) 1階)

主催: 公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

主催 京都スマートシティエキスポ運営協議会

京都府、京都市、京田辺市、木津川市、精華町、バルセロナ市、スペイン・バルセロナ見本市会社、バルセロナ・グローバル、スペイン大使館経済商務部、デンマーク大使館、日西経済委員会、京都商工会議所、(公社)京都工業会、(公財)関西文化学術研究都市推進機構、(一社)京都知恵産業創造の森、(公財)京都産業21、(公財)京都高度技術研究所、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー、(一財)インターネット協会、(株)けいはんな

後援 内閣府、総務省、外務省、経済産業省、国土交通省、環境省、日本商工会議所、(公社)関西経済連合会、(一社)京都経済同友会、(独)日本貿易振興機構大阪本部、(独)都市再生機構、関西国際戦略総合特別区域地域協議会、(国研)科学技術振興機構

事務局 京都スマートシティエキスポ2019運営事務局(サクラインターナショナル内) TEL 050-5804-1338 FAX 03-6685-4962

ネクストモビリティExpo 2019

会期: 10.3木 → 4金 10:00～17:00
会場: けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)
京都スマートシティエキスポ2019会場内

主催: ネクストモビリティExpo実行委員会



アクセス ご来場は公共交通機関をご利用ください。

【最寄駅から】

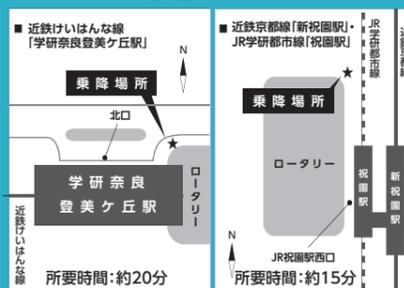
- 近鉄京都線、「新祝園駅」またはJR学研都市線「祝園駅」から奈良交通バス「36」「56」号系統乗車
降車: KICK「公園東通り」/けいはんなプラザ「ATR」
- 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」から、奈良交通バス「56」号系統乗車
降車: KICK「公園東通り」/けいはんなプラザ「けいはんなプラザ」

臨時路線バスのご案内

会期中は、近鉄京都線「新祝園駅」/JR学研都市線「祝園駅」及び近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」と会場を結ぶ臨時路線バスを運行しますので、ご利用ください。

※ 運賃は主催者が負担するため、無料

臨時路線バス乗降場所



※ およそ20分間隔で運行しています。

会場MAP



セミナープログラム 10月3日(木)

2F メインホール		同時通訳
10:00	オープニングセレモニー 主催者挨拶 ■ 京都スマートシティエキスポ運営協議会会長 ■ 京都府知事 ■ 公益財団法人関西化学術研究都市推進機構 理事長 来賓挨拶 ■ バルセロナ市 戦略プロジェクト部長	
10:30	記念講演 「都市のデジタル化:ビジネスと社会の活性化」 アルビンド・サティアン氏 シスコシステムズ グローバルパブリックセクター マネージングディレクター	
11:20	基調講演 「都市の未来と都市生態系の力」 ミゲル・エイラス・アントニウ氏 デロイト グローバルスマートシティリーダー パートナー 香野 剛氏 デロイト トーマツ グループ Government & Public Services インダストリーリーダー	
13:00	「グローバル・スタートアップ・エコシステムの構築」 ジュリア・モッテラン氏 GSMA 4YFN グローバルエンゲージメントマネージャー	
13:50	「やわらかいロボットの実用化を目指して」 川村 貞夫氏 立命館大学 理工学部 ロボティクス学科教授/ロボティクス研究センター長教授	
14:40	「オープンイノベーションによる新たな価値の創造と社会貢献～未来への展望～」 上田 輝久氏 株式会社島津製作所 代表取締役社長	
15:30	「ARとVRが知識移転をどのように変えているか」 ポントウス・アップルクヴィスト氏 EON Reality アジア担当副社長	

2F シアター		同時通訳
13:00	テクノロジーが文化とパートナーになるとき 陈 健豪(エリック・チャン)氏 The Bund Finance Center CEO/Yuyuan Culture Business Group 会長/Fosun Fashion Group 副会長	
けいはんなグローバルスタートアップDemo Day		
13:50	けいはんなグローバルアクセラレーションプログラム(KGAP+)のご紹介 鈴木 博之氏 ATR代表取締役専務・けいはんなRC戦略ディレクター・イノベーションハブ推進リーダー	
14:00	KGAP+ Batch1参加企業10社によるピッチ Batch1参加者:既に3か月のプログラムを受け、実証実験を進めている10社	
16:00	KGAP+ Batch2参加企業9社によるピッチ Batch2参加者: 9/30からプログラムをスタートし、パートナーを求めている9社	

1F セミナー会場①	
13:00	「ZEB普及拡大への課題とスマートなエネルギーのまちづくり」 小林 信郷氏 大成建設株式会社 エネルギー本部 ZEB・スマートコミュニティ部 部長
13:50	「Fintechで広がるスマートシティの可能性」 丸山 弘毅氏 一般社団法人Fintech協会 代表理事会長/株式会社インフキュリオン・グループ 代表取締役 神田 潤一氏 一般社団法人Fintech協会 理事/株式会社マネーフォワード Relationship Management and Alliance with Banks 鬼頭 武嗣氏 一般社団法人Fintech協会 理事/株式会社クラウドリアルティ 代表取締役
14:40	「金融デジタル化戦略～金融サービスの高度化を通じたスマートシティの実現に向けて～」 松尾 元信氏 金融庁 政策立案総括審議官 三輪 純平氏 金融庁 フィンテック室長 神田 潤一氏 鬼頭 武嗣氏 モデレーター 丸山 弘毅氏

1F セミナー会場②		同時通訳
13:00	「SDGsと科学技術イノベーション」 白木澤 佳子氏 国立研究開発法人科学技術振興機構 理事	
13:50	「スマートシティからスマートブレインシティへ」 山川 義徳氏 一般社団法人ブレインインパクト 理事長/東京工業大学 科学技術創成研究院 特定教授/京都大学 産業創出学共同研究部門 客員教授	
14:40	「ラハティ市 - ヨーロッパ・グリーン・キャピタル2021」 ベッカ・ティモネン氏 フィンランド・ラハティ市 市長	
15:30	「新型軽自動車による安全・安心な移動の実現と産学共同研究についての取り組み」 田代 正俊氏 ダイハツ工業株式会社 製品企画部 チーフエンジニア	

2F 全国自治体交流シンポジウム会場	
全国自治体交流シンポジウム 司会:木下 剛氏 一般財団法人インターネット協会 副理事長	
13:00	開会挨拶
13:05	「スマートシティ・MaaS=繋がる世界で「人と街」をつなぐ Welcome! STAMP・e街ギフトについて具体的な地域事例のご紹介」 森 悟朗氏 株式会社ギフト 事業本部 執行役員
13:25	「IoTが創り出す自律、共生社会とは」～舞鶴市・オムロンの取り組み事例～」 横田 美希氏 オムロンソーシアルソリューションズ株式会社 コミュニティソリューション事業本部 NEXT事業統括部 プロジェクトリーダー
13:45	「京都×ドローン×デジタル化がインフラの未来を変える!(NPO京都府ドローン普及・技術研究PF)」 春田 健作氏 株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク エンジニアリング部 技師長
14:05	「スマートシティにおけるサービスロボットの活用」 油谷 実紀氏 TIS株式会社 エグゼクティブフェロー
14:30	「地域の住民中心の地域包括ケアシステムに向けて」 伊集院 明宏氏 日本テレネット株式会社
14:50	「地域と暮らしを医療・介護・家族連携で支える『IIJ電子@連絡帳サービス』～複数行政による共通プラットフォーム利用と、IoTホームセンサーを活用した多職種連携見守り実証～」 小椋 大嗣氏 合同会社ネコリコ(株式会社インターネットイニシアティブ 上級コンサルタント)
15:10	「“X”-Ops(オプス)による自治体スマート化」 地子 徳幸氏 イーソリューションズ株式会社 執行役員 副社長
15:30	「観光ビッグデータを活用したインバウンド対策」 柏木 祐輔氏 株式会社ナイトレイ 取締役COO
15:50	「一般社団法人京都スマートシティ推進協議会の取組事例紹介」 伊澤 慎一氏 一般社団法人京都スマートシティ推進協議会 構成社員(シンク・アンド・アクト株式会社 代表取締役)
16:10	「SDGsにつなげる「スマートシティさいたまモデル」の取組」 田中 誠氏 さいたま市 都市戦略本部 未来都市推進部 環境未来都市推進担当 グローバルサミットグループリーダー
16:30	講評

1F セミナー会場③	
13:00	「スマートシティ:人工知能とサイボーグ」 高橋 透氏 早稲田大学 教授
13:50	「スタートアップこそが新産業を創造する」 山口 栄一氏 京都大学 教授
国際高等研究所パネルセッション「未来を拓く国際高等研究所」	
14:40	科学技術・国際分野からの提言「21世紀・持続可能社会(SDGs)時代における科学技術と地域のデザイン」 社会・経済分野からの提言「第4次産業革命への挑戦」 教育・人文分野からの提言「教育を基軸とした住民参加型地域振興について」 松本 紘氏 国際高等研究所 所長/理化学研究所 理事長 佐和 隆光氏 国際高等研究所 副所長/京都大学 名誉教授 有本 建男氏 国際高等研究所 副所長/政策研究大学院大学 客員教授 高見 茂氏 国際高等研究所 副所長/京都光華女子大学 学長

1F SEIKAクリエイターズ インキュベーションセンター	
10:30	京都スマートシティ推進協議会企画 D-stand(デジタルサイネージ)×大学生アイデアソン2019
16:10	
13:00	総務省主催 2019年度IoTデザインハブ(地域IoT官民ネット)
16:10	

ビジネスセミナー	
ビジネスセミナールーム	
13:00	実証実験で実績を培った「スマートシティを加速させる無線通信端末(屋外型ゲートウェイ)」の活用紹介 日新電機株式会社
13:30	スマートシティ最新事例紹介 シスコシステムズ
14:00	スマートシティにおけるFIWAREの可能性 TIS株式会社
14:30	「Society5.0」の実現に向けたNECのスマートシティへの取り組み 日本電気株式会社(NEC)
15:00	FIWAREテクノロジーによる革新的なスマートシティのご紹介 FIWARE Foundation e.V.

講演者一覧 10月3日(木)

記念講演



シスコシステムズ グローバルパブリックセクター マネージングディレクター
アルビンド・サティアン 氏

アルビンド・サティアン氏は、世界的なテクノロジーのリーダーであり、投資家、取締役アドバイザー、講演者、熱心な旅行者でもある。彼は、人工知能(AI)、モノのインターネット(IoT)、ビッグデータと、それらが公衆衛生・よりスマートな都市・環境の持続可能性・金融包摂、技能訓練、雇用などの市民の生活の質に及ぼす影響など、技術の規模拡大の機会に影響に力を入れている。

基調講演



デロイト グローバルスマートシティリーダー/パートナー
ミゲル・エイラス・アントニウ 氏

デロイトのグローバルスマートシティリーダー。ポルトガルの公共部門、輸送、自動車、インフラストラクチャ等のセクターリーダー。23年にわたって様々な業界のクライアントに対するコンサルティング業務に従事。コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、監査等、複数の領域にまたがる専門家構成された学際的なチームを率いており、公共および民間企業の複雑なプロジェクトや大規模なビジネス変革を支援した豊富な経験を有する。



GSMA 4YFN グローバルエンゲージメントマネージャー
ジュリア・モッテラン 氏

4YFNと世界のハイレベルなテクノロジーコミュニティとの橋渡しを担う。彼女は、コミュニティプログラムを率い、上海からLAIに至るまでの多数の地域の文化、経験、ネットワークを担当している。



立命館大学 理工学部 ロボティクス学科教授
ロボティクス研究センター長教授
川村 貞夫 氏

1987年	立命館大学理工学部機械工学科 助教授
1996年	立命館大学ロボティクス学科 教授
2003年4月~2006年12月まで	立命館 副総長・立命館大学 副学長
2011年~2012年	日本ロボット学会 会長
2006年~	日本学術会議 連携会員
2015年~	日本学術会議 第3部機械工学委員会 ロボト学分科委員長
2015年~	日本ロボット革命イニシアティブ協議会 評議員
2018年~	ロボットベンチャー企業 チトゼロロボティクス 副社長

研究・専門テーマ:水中ロボット、ソフトロボット、産業用ロボットの運動制御法など
主な受賞 2001年 グッドデザイン賞ユニバーサルデザイン特別賞
2016年 日本ロボット学会功労賞など
2019年 双葉電子記念財団 衛藤細谷記念賞 ほか



株式会社島津製作所 代表取締役社長
上田 輝久 氏

株式会社島津製作所 代表取締役社長。1957年山口県生まれ。1982年京都大学大学院工学研究科修士課程修了、島津製作所入社。2007年執行役員分析計測事業部副事業部長、2011年取締役分析計測事業部長を経て、2015年6月から現職。



EON Reality アジア担当副社長
ポントゥス・アッペルクヴィスト 氏

ポントゥス・アッペルクヴィスト氏は、過去20年間、Opticore AB、Autodesk Inc.、EON Reality Inc.などの企業と、新技術を市場に投入した実績をもつ。2010年からEON Realityでアジア担当副社長を務め、環太平洋地域での市場拡大を目指し、教育・企業クライアント向けにARやVRのソリューションを提供している。スウェーデン・ヨーテボリのチャルマース工科大学でコンピュータサイエンス・工学分野で理学修士号を取得。4つの言語の話者。



The Bund Finance Center CEO/Yuyuan Culture Business Group 会長
Fosun Fashion Group 副会長
陈 健豪(Eric Chan) 氏

エリック・チャン氏は、ブンド・ファイナンス・センターのCEOであり、ユーワン・カルチャー・ビジネス・グループ会長、FOSUNファッション・グループ副会長でもある。エリックは、CRM、セールス&マーケティングや、小売、観光、文化、芸術などその他のリソースの相乗効果により顧客に他に類を見ない購買・ライフスタイル体験を提供し、FOSUNグループのビジネスパートナーの最高の存在を示すことに注力している。FOSUNグループに加わる以前は、SECOO、K11、Wharf、香港MTR、フォーシーズンズホテル&リゾートなどの国際企業でのマネジメント実績を有する。オムニチャンネルショッピングプラットフォームやショッピングモールプロジェクト、オフィス・ハイエンドホテル&リゾートなど、商業産業分野での20年以上の経験を有する経営者として、文化、芸術、商業と急速に変化する世界と統合することで、小売産業を変える新しいビジネスモデルを送り出すパイオニアとして活躍し続けている。



大成建設株式会社 エネルギー本部 ZEB・スマートコミュニティ部 部長
小林 信郷 氏

・設計実績
2011年 横浜スマートシティプロジェクト(経済産業省 補助金事業)
2008年 前川製作所新本社ビル
・技術開発実績
2017年 JS博多渡辺ビル ZEB Ready計画
2016年 大成札幌ビル ZEBリニューアル計画
・受賞歴
2018年 日経ニューオフィス賞 九州沖繩ニューオフィス推進賞
2017年 京橋MIDビル 電気設備学会 施設奨励賞



一般社団法人Fintech協会 代表理事会長/株式会社インキュベーショングループ 代表取締役
丸山 弘毅 氏

慶応義塾大学商学部卒業。2006年インキュベーションを創業し、グループの経営戦略、新規事業を担当。2015年一般社団法人Fintech協会を設立し代表理事会長に就任。業界発展・法改正などに貢献。2018年一般社団法人キャッシュレス推進協議会理事に就任。日本のキャッシュレス推進に向け実務・政策の両面から貢献。



一般社団法人Fintech協会 理事
株式会社マネーフワード Relationship Management and Alliance with Banks
神田 潤一 氏

1994年日本銀行入行。2004年より金融機構局で、主要行や外国金融機関等のモニタリング・考査を担当。2011年に日本生命に転出、運用リスク管理を担当。2014年より日本銀行金融機構局考査運営課市場・流動性リスク考査グループ長。2015年から2年間、金融庁に転出、総務企画局企画課信用制度参事官室企画官として、決済制度・インフラの高度化やFintechに関する調査・政策企画に従事。2017年9月、株式会社マネーフワードに参画。



一般社団法人Fintech協会 理事/株式会社クラウドリアルティ 代表取締役
鬼頭 武嗣 氏

東京大学工学部建築学科卒業、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。ボストン・コンサルティング・グループを経て、メリリンチ日本証券の投資銀行部門にて不動産業を中心とした事業会社及びJ-REITのIPO・公募増資の主要業務、不動産証券化に関するアドバイザー業務など多数の案件を執行。2014年に株式会社クラウドリアルティを設立し、代表取締役に就任。内閣府革新的事業活動評価委員会委員。



金融庁 政策立案総括審議官
松尾 元信 氏

1987年大蔵省(現財務省)入省。広島国税局徳山税務署長、国際金融局為替資金課課長補佐、主計局総務課課長補佐などを経て、主計局主計官補佐。その後、内閣法制局参事官、主計局主計企画官、同地方財政担当主計官、国際局為替市場課長を歴任。金融庁総務企画局企画課長、総務企画局(現企画市場局)参事官(信用・保険制度担当)、公認会計士・監査会事務局長(兼任)を経て、2019年7月より金融庁総合政策局政策立案総括審議官(現職)。



金融庁 フィンテック室長
三輪 純平 氏

一橋大学経済学部卒。平成11年日本輸出入銀行入行。金融庁に入庁後、監督局パーゼル・推進室課長補佐(総括)、総務企画局総務課国際室国際保険調整官、同総括補佐、同国際証券調整官(兼開示課国際会計調整室長)を経て、現職。



国立研究開発法人科学技術振興機構 理事
白木澤 佳子 氏

1987年に科学技術振興機構(JST)の前身である日本科学技術情報センターに入所。科学技術分野のデータベースの提供や、基礎研究から産学共同研究まで幅広い研究開発へのファンディングプログラムなどを担当。2015年10月からJSTの理事として、産学共同研究、国際共同研究のファンディングやSDGsを担当。



一般社団法人ブレインイノベーション 理事長/東京工業大学 科学技術創成研究院 特定教授
京都大学 産業創出学共同研究部門 客員教授
山川 義徳 氏

2000年京都大学理学研究科修了。2000年・2005年日本電気株式会社。2008年京都大学大学院人間・環境学研究科修了、博士(人間・環境学)。2008年~2010年京都大学情報学研究科GCOE助教。2010年~2014年NTTデータ経営研究所ニューロマネジメント室長。2014年~2019年内閣府革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)プログラムマネージャー。2019年NTTデータ経営研究所情報未来イノベーション本部シニアマネージャー。その他、一般社団法人ブレインイノベーション理事長、東京工業大学特定教授、京都大学客員教授を兼務。



フィンランド・ラハティ市 市長
ペッカ・ティモネン 氏

ペッカ・ティモネン氏はラハティ市の市長。2018年選出。ラハティ市は人口12万人であり、20万人の都市地域の中心地となっている。また、気候変動に対し行動を起こす環境都市として国際的に知られている。
・過去に総理大臣官邸の事務総長を務める。キャリアの初期に、World Design Capital Helsinki 2012の事務局長、ヘルシンキ文化局長を務めた。
・歴史学の修士を保有



ダイハツ工業株式会社 製品企画部 チーフエンジニア
田代 正俊 氏

1990年同志社大学、機械学科卒業。同年、ダイハツ工業入社。以降、エンジンやドライブトレイン関係の開発に従事。最近は、製品企画部のチーフエンジニアとして新型タクトを開発。



株式会社ギフト 事業本部 執行役員
森 悟朗 氏

1991年 株式会社ジーシービー入社 提携先開拓・ネットワークセールス・加盟店営業を歴任
2009年 部長として加盟店営業・金融機関営業・日本カードネットワーク支社長を兼務
2015年 株式会社J&Jギフト(TB50%:JC50%出資会社)の代表取締役社長
2019年2月 株式会社ギフト 現職



オムロンソーシャルソリューションズ株式会社
コミュニティソリューション事業本部 NEXTE事業統括部 プロジェクトリーダー
横田 美希 氏

2014年~2018年 株式会社ビジネスコンサルタント 入社
組織開発・人材育成の営業としてリーダーを務める
2018年~現在オムロンソーシャルソリューションズ株式会社 入社
地方創生の一つ「共生」のリーダーを務める



株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク エンジニアリング部 技師長
春田 健作 氏

立命館大学土木工学課を修了し、約10年間橋梁メーカーで道路橋の設計・施工に携わる。その間、国土技術政策総合研究所でインフラ施設の維持管理について研究を行う。その後、豊中市役所、京都府庁と地方自治体でインフラセクターマネジメント、災害復旧を経験し、本年8月より(株)ジャパン・インフラ・ウェイマークで働き始める。



TIS株式会社 エグゼクティブフェロー
油谷 実紀 氏

1994年東京大学大学院人文科学研究科(心理学)修士修了後、株式会社東洋情報システム(当時)に入社し、製造業を中心にエンタープライズシステム構築プロジェクトに従事、2009年より全社R&D部門を担当、AIおよびサービスロボットインテグレーション事業を立ち上げ、現在は会津サービスソリューションセンターを中心にスマートシティに関わる事業の立ち上げを推進。



日本テレネット株式会社
伊集院 明宏 氏

1960年東京生、1983年慶應義塾大学商学部卒、明治製菓(株)薬品海外部、(株)東芝・ヘルスケア社/ライフサポート部長、東芝ソリューション(株)ヘルスケアIT事業統括責任者、丸紅情報システムズ(株)医療・ヘルスケアソリューション部長/医療・ヘルスケア分野スペシャリストなどを歴任
現:日本テレネット(株) 健康マネジメント推進業務支援
モバイルコンピューティング推進コンソシアム(約190社加盟)AI&ロボット委員会/パイオ&ヘルスケアWGリーダー



合同会社ネコロコ(株式会社インターネットイニシアティブ 上級コンサルタント)
小椋 大嗣 氏

【現職】名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部・臨床研究支援センター 介護予防研究員(2017年~現在)/瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会ネットワーク部会委員(2018年~現在)/東三河電子連絡協議会委員(2017年~現在)/他、愛知県県内在宅医療介護連携推進協議会委員(20地域)
【プロフィール】
日本IBM株式会社・株式会社NTTデータを経て、2016年に株式会社インターネットイニシアティブ入社。現在、上級コンサルタント職として各行政の医療福祉情報連携コーディネーターを勤める。



イノベーションズ株式会社 執行役員 副社長
地子 徳幸 氏

2019年6月~現在 イノベーションズ(株) 執行役員 副社長
2015年 11月~2018年3月 桜プロジェクト(株) 代表取締役
2014年 7月~2019年6月 イノベーションズ(株) 代表取締役副社長
2007年 7月~2014年 6月 ーソリューションズ(株) 取締役副社長
2004年 12月~現在 NCメディアリサーチ(株) 取締役
2005年 2月~2007年 6月 イノベーションズ(株) 取締役
2004年 4月~2005年 1月 イノベーションズ(株) ジェネラルマネージャー
2002年 7月~2004年 3月 ネプリ 代表取締役社長
2001年 6月~2002年 6月 ネプリ 常務取締役
1990年 4月~2005年 1月 インテック



株式会社ナイトレイ 取締役COO
柏木 祐輔 氏

関西学院大学卒業。シンクタンク系コンサルティングファームにて、中堅・中小企業の中期経営計画の策定、経営管理体制の構築に従事。戦略系コンサルティングファームにて、大手企業の経営戦略や海外戦略、地方自治体の産業政策やDMO設立支援等に従事。ナイトレイに入社し、取締役COOとして事業戦略や組織運営等会社全般の業務に従事。



一般社団法人京都スマートシティ推進協議会 構成社員
(シンク・アンド・アクト株式会社 代表取締役)
伊澤 慎一 氏

京都大学経済学部卒業。株式会社UFJ銀行(現:株式会社三菱UFJ銀行)、株式会社グローバル・マネジメント・ディレクションズ(現:KPMG-FAS)等を経て、シンク・アンド・アクト株式会社設立。日本国内における組織開発・人材開発事業を展開しつつ、京都での地域課題解決の新事業開発に従事している。



さいたま市 都市戦略本部 未来都市推進部 環境未来都市推進担当
グローバルサミットグループリーダー
田中 誠 氏

2000年4月に旧浦和市役所(現さいたま市役所)へ入職し、教育委員会事務局財務課へ配属される。保健福祉局子育て企画課、浦和区役所保険年金課、環境局環境未来都市推進課を経て、現在に至る。
電気自動車普及施策「E-KIZUNA Project」、次世代自動車・スマートエネルギー特区、さいたま市が理想とする都市の縮図である「スマートシティさいたまモデル」を推進するセクションであり、2021年に予定している、国際化を目指した会議「(仮称)E-KIZUNA グローバルサミット」の開催準備を行うグループのリーダー。



早稲田大学 教授
高橋 透 氏

2007年 早稲田大学文学学術院教授就任 現在にいたる
現代テクノロジー論・技術の哲学専攻
著書「サイボーグ・エシックス」(水声社)、「サイボーグ・フィロソフィー」(NTT出版)、「文系人間のためのAI論」(小学館)



京都大学 教授
山口 栄一 氏

1977年、東京大学理学部物理学科卒業。1979年、同大学院理学系研究科物理学専攻修士修了、理学博士(東京大学)。1998年までNTT基礎研究所主幹研究員。その間ノートルダム大学客員研究員として米国サウスベンドに在住。さらに仏国IMRA Europe招聘研究員として5年間ソフィアアンティポリスに在任。2003年まで経団連21世紀政策研究所研究主幹。2014年まで同志社大学大学院教授、その間ケンブリッジ大学クエアホール客員フェロー。2014年より現職。5社のベンチャー企業を創業。著書に「Innovation Crisis: Successes, Pitfalls, and Solutions in Japan」(Pan Stanford Publishing 2019年)、「イノベーションはなぜ途絶えたか—科学立国日本の危機」(ちくま新書2016年)、「物理学者の墓を訪ねる—ひらめきの秘密を求めて」(日経BP 2017年)、「イノベーション政策の科学—SBIRの評価と未来産業の創造」(共著、東大出版会 2015年)、「死ぬまでに学びたい5つの物理学」(筑波書庫、2014年)、「イノベーション 破壊と共鳴」(NTT出版、2006年)など。



国際高等研究所 所長/理化学研究所 理事長
松本 紘 氏

1965年京都大学工学部電子工学科卒、工学博士。同大教授、生存圏研究所長、理事・副学長などを経て、2008年10月京都大学総長就任(2014年9月まで)。2015年4月から国立研究開発法人理化学研究所理事長、2018年4月より国際高等研究所所長に就任し、現在に至る。専門は宇宙プラズマ物理学、宇宙電波科学、宇宙エネルギー工学。ガガリンメダル(ロシア)、紫綬褒章、Booker Gold Medal(米国)、レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ(仏国)、名誉大英勲章OBE(英国)などを受賞。



国際高等研究所 副所長/政策研究大学院大学 客員教授
有本 建男 氏

科学技術振興機構上席フェロー・政策研究大学院大学客員教授。文部科学省科学技術・学術政策局長などを歴任。専門は科学技術政策、OECD科学助言研究プロジェクト共同議長、政府科学助言国際ネットワーク委員、外務省科学技術外交推進会議委員、国連STI for SDGs Forum参加メンバー、内閣府自動運転プロジェクト副プログラム・ディレクター。著書に「科学的助言：21世紀の科学技術と政策形成」など。



国際高等研究所 副所長/京都大学 名誉教授
佐和 隆光 氏

東京大学経済学博士;計量経済学・環境経済学;東京大学助手(1967~69);京都大学助教授(1969~80);京都大学教授(1980~2006);立命館大学教授(2006~10);滋賀大学学長(2010~16);滋賀大学特別招聘教授(2016~);国際高等研究所副所長(2018~);スタンフォード大学特別研究員(1970~71);イリノイ大学客員教授(1975~78);国立情報学研究所副所長(2000~04);中央環境審議会委員(1992~2013);交通政策審議会委員(2000~13);同会長(2009~13);環境経済・政策学会会長(1995~2006);紫綬褒章受章(2007)



国際高等研究所 副所長/京都光華女子大学 学長
高見 茂 氏

京都光華女子大学学長。京都大大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学後、奈良大学教養部助教授、京都大学教育学部助教授、京都大学大学院教育学研究科教授、国立大学法人京都大学理事補、京都大学大学院教育学研究科長・学部長を経て、現職。専門は教育行政。研究テーマは公共政策と教育資源配分。主要著書に「教育行政提要」(共著、協同出版2017年)、「教育経営」(共著、協同出版2017年)。

セミナープログラム 10月4日(金)

2F メインホール		同時通訳
10:30	記念講演 「テクノロジーが創る新社会」 マーク・アインシュタイン 氏 株式会社アイ・ティ・アール チーフ・アナリスト(事故ゼロフォーラム 公式アドバイザー)	
11:20	基調講演 「インダストリー・ルネサンス ～持続可能な世界に向かうイノベーション、ビジネス、人」 山賀 裕二 氏 ダッソー・システムズ株式会社 代表取締役社長	

MaaS シンポジウム	
13:00	基調講演 「サービスとしての交通 ―クルマの所有の終わり?」 サンボ・ヒータネン 氏 マース・グローバル社 CEO
13:40	基調講演 「生活スタイルを変えるWILLERS MaaS 交通をサービスに変えて豊かな社会をつくる」 村瀬 茂高 氏 WILLER株式会社 代表取締役
14:25	座談会 「MaaSにより、私たちの未来はどう変わるのか」 サンボ・ヒータネン 氏 村瀬 茂高 氏 ルイス・ゴメス 氏 バルセロナ市 戦略プロジェクト部長 セバスチャン・トランブレイ 氏 ラバル大学教授/都市科学共同研究ユニット長 コーディネータ 夏目 典明 氏 京大オリジナル株式会社 コンサルタント
15:30	「FIWARE:スマートエコノミーに向けた都市の成長戦略の推進 先進的なスマートシティ事例と相互運用性に向けたグローバルな連携」 ファンホ・イエロ 氏 FIWARE Foundation CTO
16:20	「[ナショナル・スポーツ協定] スポーツをすべての人にとって利用しやすいもの、そして持続可能な開発の触媒にする、オランダの新しい根本的・統合的アプローチ」 バーテル・ベルクハウト 氏 SPORTSINQ CEO

2F シアター		同時通訳
関西・ASEAN・環インド洋連合 (IORA) イノベーション拠点連携サミット ～グローバル・イノベーションと新産業創出を目指して～		
13:00	公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 16:00 ガイダンスルームにてビジネスマッチング会開催 タイ王国、インドネシア、マレーシア、ベトナム、シンガポール、ブルネイ、台湾、オーストラリアのキーパーソン	
15:30	「国民総幸福量のための技術力の活用 ―ブータン初のITパーク、ティンブー・テックパークの事例研究」 ツェリング・シゲ・ドルジ 氏 ブータン王国 ティンブー・テックパーク CEO	
16:20	「スマートシティは日本のゴースタウンをどのように救うことができるか?～オーストラリアの事例から～」 ギャリー・ビックル 氏 GMBPGM tEChOvision 創業者、オーナー	

1F セミナー会場①	
13:30	「光触媒の広がり～人工光合成とセルフクリーニング、そしてカーボンリサイクルへ～」 藤嶋 昭 氏 東京理科大学 名誉教授

国際高等研究所「日本文化創出を考える」研究会 パネルディスカッション「日本文化を活用した産業創出や街づくり」	
14:40	代表者 西本 清一 氏 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長/公益財団法人京都高度技術研究所 理事長/京都大学 名誉教授 メンバー 熊谷 誠慈 氏 京都大学こころの未来研究センター 特定准教授 徳丸 吉彦 氏 聖徳大学 教授/お茶の水女子大学 名誉教授 高橋 義人 氏 平安女学院大学国際観光学部 特任教授/京都大学 名誉教授 長尾 真 氏 国際高等研究所 学術参与/京都大学 名誉教授
16:20	「生成型の都市計画とその手法」 井関 武彦 氏 ザハ・ハデイドアーキテクト 主任建築家

1F セミナー会場②		同時通訳
13:00	「国際規格から読み解くスマートシティと英国の最新事例」 西中 宏 氏 BSIグループジャパン株式会社 認証事業本部 本部長	
13:50	「ワントゥーテンが推進する課題解決型エンターテインメントによる日本再興ビジョンとは」 澤邊 芳明 氏 株式会社ワントゥーテン 代表取締役社長	
14:40	「デジタルコモンズ:公共/民間の共同構築の新しい方法」 ベンジャミン・ジャン 氏 inno3 CEO	
15:30	「差を埋める」 ハンス・ニンディーカー 氏 IVIDO CEO	
16:20	「IoT、ABC(AI, Big Data, Cloud Computing)などの最新IT技術をSmart City, Smart Parkの設計にどのように統合するか」 ノ・ジュファン 氏 SDPlex Co., Ltd. CEO	

2F 全国自治体交流シンポジウム会場	
全国自治体交流シンポジウム 司会:木下 剛 氏 一般財団法人インターネット協会 副理事長	
12:30	開会挨拶
12:35	基調講演 スマートシティ実現に向けた内閣府×総務省×経済産業省×国土交通省による合同パネルセッション
13:35	「スマートシティ官民連携プラットフォームの始動について」 吉川 和身 氏 内閣府 企画官 「総務省のスマートシティ推進の取組について」 吉田 智彦 氏 総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 課長補佐 「スマートモビリティチャレンジの狙いと進め方」 眞柳 秀人 氏 経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐 「国土交通省におけるスマートシティの取り組みについて」 酒井 祐介 氏 国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室 課長補佐 合同パネルセッション 「スマートシティの実現に向けて」
13:35	「令和時代のソーシャルデザインについて ～第4次産業革命期における未来街づくり戦略～」 東 博暢 氏 株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル
13:55	「つくばスマートシティの取組」 宮本 善光 氏 茨城県 産業戦略部 技術振興局 科学技術振興課 課長
14:15	「ひろしま流イノベーション ～砂場から未来へ～」 桑原 義幸 氏 広島県 総務局 情報戦略総括監
14:35	「東京都のデジタル戦略 ～Society5.0とTOKYO Data Highway 基本戦略～」 荻原 聡 氏 東京都 戦略政策情報推進部 ICT推進部 情報企画担当部長
15:05	基調講演 「三重発☆テクノロジーで『地方創生』 鈴木 英敬 氏 三重県 知事
15:35	「スマートヘルスケア時代のEBPM -神戸市民PHRシステムの活用-」 三木 竜介 氏 神戸市 保健福祉局健康政策課 健康創造担当課長
15:55	「スマートシティ西条 -教育分野における学び方改革と働き方改革」 渡部 誉 氏 西条市 総務部 ICT推進課 副課長
16:15	「都市間連携でデータ共有するスマートシティの未来」 豊崎 禎久 氏 一般社団法人 益田サイバースmartシティ創造協議会 専務理事
16:35	講評

1F セミナー会場③	
関西広域連合「次世代モビリティ社会と地方自治体の役割を考える」フォーラム	
13:00	「次世代モビリティ社会に向けた鳥取県の取組」 藤木 慎一郎 氏 鳥取県生活環境部環境立県推進課 次世代エネルギー推進室長
15:20	「美山町のモビリティの活用と課題 -観光の視点から考える-」 青田 真樹 氏 一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 事務局次長 「自動車産業を巡る状況と電動化対応の方向性」 佐藤 吉信 氏 経済産業省 製造産業局 自動車課 自動車戦略企画室 課長補佐 「EVを活用したVPP実証事業について」 岡田 重樹 氏 関西電力株式会社 地域エネルギー本部 副本部長 「電動車普及に向けた取組について-トヨタが目指すもの-」 酒井 ゆう子 氏 トヨタ自動車株式会社 東京技術部 担当課長 「Hondaの電動車活用社会に向けた取り組み」 岩田 和之 氏 株式会社本田技術研究所(ライフクリエーションセンター エネルギーマネジメント担当) 執行役員 「EVとバッテリーで拡がる社会エコシステム」 堀江 浩史 氏 日産自動車株式会社 渉外部 担当部長 「『電動DRIVE』社会の実現に向けて」 岩本 和明 氏 三菱自動車工業株式会社 商品戦略本部 執行役 商品戦略本部長 「EV普及に向けたNTTグループの取り組み」 岡 敦子 氏 日本電信電話株式会社 取締役 技術企画部門長
15:30	「スマートシティ@東京ベイエリア」 中村 伊知哉 氏 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授
16:20	「“生活者データ・マーケティング”の推進」 青木 雅人 氏 株式会社博報堂DYホールディングス マーケティング・テクノロジー・センター室長

1F SEIKAクリエイターズ インキュベーションセンター	
10:00	モビリティ・ハッカソン ～3歳からのまちづくりスーパーリーグ
16:10	スーパーバイザー 早瀬 慶 氏 PwCコンサルティング合同会社 パートナー アンバサダー フェルナ エリザベス 氏 PwCコンサルティング合同会社 シニアアソシエイト ファシリテーター 町口 奈緒子 氏 PwCコンサルティング合同会社 アソシエイト
	   早瀬 慶 氏 フェルナ・エリザベス 氏 町口 奈緒子 氏

ビジネスセミナー	
ビジネスセミナールーム	
13:00	日本発で21世紀のまちづくり産業を創る～Sidewalk Labsマスタープランからの示唆～ デロイト トーマツ グループ
13:30	スマートシティの事業化アプローチ -製造業・建設業を例に- デロイト トーマツ グループ
14:00	究極の多孔性材料、PCP/MOFって何? 京都中央信用金庫(株式会社Atomis)
14:30	科学技術で認知症に向き合う。島津製作所 株式会社島津製作所

講演者一覧 10月4日(金)

記念講演

株式会社アイ・ティ・アール チーフ・アナリスト(事故ゼロフォーラム 公式アドバイザー)
マーク・アインシュタイン 氏

テレコミュニケーションおよびデジタルメディア業界における市場調査、コンサルティング、経営分析で10年以上に渡る経験を有し、日本、韓国、シンガポール、香港、オーストラリアなどにおける大手キャリア・通信機器メーカーで多数のプロジェクトを手がける。また、CNN、CNBC、BBC Global、Channel News Asiaなどでのメディア活動に加え、主要なテレコミュニケーション会議において講演活動にも従事。

基調講演

ダッソー・システムズ株式会社 代表取締役社長
山賀 裕二 氏

1983年慶應義塾大学法学部卒業後、日本アイ・ピー・エム入社。1999年米国IBMにて副社長補佐。帰任後に経営企画部長、理事・通信メディア公益事業部長。2007年マイクロソフト株式会社入社。執行役員常務エンタープライズ・サービス担当、同クラウド事業推進担当としてクラウド事業の立ち上げなどを担当。2015年2月セルスオース・ソフトコム入社。専務執行役員エンタープライズ営業担当、同デジタル・イノベーション事業統括として顧客のデジタル変革を推進。2017年11月より現職。

マース・グローバル社 CEO
サンポ・ヒータネン 氏

100億ユーロ規模の交通分野の改革を先導する、フィンランドの急成長中のモビリティカンパニー・MaaS Globalの創設CEO。モビリティの未来と開かれたエコシステムの力に関する著名な専門家であり、説得力のある講演者でもある。サンポの将来のビジョンは、技術的な部分もあるが、基本的には人間的なもの。「技術はすでにある。私たちがやるべきことは、顧客の夢を見届け、それに合ったサービスを構築することだけだ」

WILLER株式会社 代表取締役
村瀬 茂高 氏

1994年に創業。快速列車・高速度バス・タクシーや鉄道、レストランパスなど、移動に新たな価値を創造し続けている。2018年シンガポールにWILLERS PTE. LTDを設立。アセアンの自動車販売やライドシェアサービスなど、新たなテクノロジーを活かしたモビリティやITマーケティングを活かして移動サービスの進化に挑戦している。国内では、京都府鉄道沿線や北海道での「観光MaaS」を始めている。

京大オリジナル株式会社 コンサルタント
夏目 典明 氏

京都大学大学院宇宙物理学科卒業後、狭野村総合研究所にビジネスコンサルタントとして入社し、民間企業や官公庁とともに、多分野に渡るプロジェクトを実施。現在は京大オリジナル枠にて、大学の「知」の社会実装をミッションに、プロジェクトの構築・遂行に取り組む。

バルセロナ市 戦略プロジェクト部長
ルイス・ゴメス 氏

ルイス・ゴメスは、EIT Urban Mobilityのコーディネーターなどを務めるバルセロナ市の戦略プロジェクト担当ディレクター。以前にバルセロナ市経済・企業・イノベーション担当局長、スマートシティ・エクスポートバルセロナ国際VPなど、都市の経済・ビジネス構造を促進する政策を主導し、イノベーションの拠点であり、国際的な活動と人材が集まるプラットフォームであるバルセロナの地位の強化に取り組む。バルセロナの戦略部門の国際経済振興も担当しており、スタートアップエコシステムや、モバイル・ICT・物流・文化産業などの強化・統合に注力。持続可能なモビリティ、電気自動車、スマートシティなどの戦略的かつ革新的な部門に能力を発揮し、官民間セクターでキャリアを築いてきた。

ラバール大学教授/都市科学共同研究ユニット長
セバスチャン・トランブレイ 氏

セバスチャン・トランブレイはカーディフ大学で心理学の博士号を取得(1999)を取得し、カーディフと防衛評価研究機関(QinetiQ)との協同研究によりポッドフロロシップを完了した。彼はラバール大学の教授であり、Co-DOTラボの創設メンバー、英国カーディフ大学の名誉教授、UMRSuのディレクターでもあります。UMRSuは、共同研究開発イニシアチブによる学術、産業、政府間パートナーのコンソーシアムです。新都市市の課題に対する革新的でスマートなソリューションを提供します。彼の研究はテクノロジーと人間の相互作用に集中しており、セキュリティ、輸送、救急医療、教育、娯楽などの幅広い分野に及び、人間のパフォーマンスと生活の質を最大化する事を目的とします。

FIWARE Foundation CTO
ファンホ・イエロ 氏

ファンホ・イエロ氏は、FIWARE FoundationのCTOであり、FIWAREの技術的方向性を推進するFIWARE Technical Steering Committee(TSC)の議長を務めています。また、AI、ブロックチェーン、ロボティクス、データエコノミー、主権、IoTの進化について定義されている技術ロードマップアクティビティを調整しています。さらに、各アプリケーションドメインのFIWARE戦略の方向性、ビジョン、および価値提案が定義されているドメイン委員会を含む、FIWAREミッションサポート委員会の活動をサポートしています。FIWAREは、オープンソースのイニシアチブであり、スマートシティのコア標準の定義を推進する標準ETSI NGSI-LD APIや、FIWARE FoundationとTMフォーラムが開始した「フロントアナススマートシティ」プログラムの傘下で都市が共同で定義したデータモデルです。

SPORTSINQ CEO
バーテル・ベルクハウト 氏

バーテル・ベルクハウト氏はSportsInQのCEOであり、SportsLeadership Institute Amsterdamの創設者。(都市)スポーツ開発の分野において、認知されたリーダーであり、以下の明確な使命を有している。スポーツと活力が社会に及ぼすプラスの影響を最大化すること。日本(グリーン・スポーツ・アジア)とオランダを含む様々な文化を結びつけることを専門とし、スポーツとヘルスケアのためのリーダーシップ学習コミュニティを確立。彼は、政府、学界、スポーツ組織、企業部門と関与させ、それらを結果させることによって、スポーツの力を活用して、新しい社会的協力、持続可能な開発、平和等の目標を促進し、強化する。また、次世代のスポーツリーダーをカブつるというミッションで立ち上げられた、革新的な高い「ナノローダー、スポーツ・イノベーションプログラム」など、効果的なリーダーシップ・プログラムの設計も担当。Nyenrode Business UniversityでMBAを、アムステルダム大学ではオランダ法学修士号を取得。

ブータン王国 ティンブーテックパーク CEO
ツェリング・シゲ・ドルジ 氏

ツェリング・シゲ・ドルジ氏は、ブータンの初のITパークであるティンブーテックパークの最高経営責任者であり、技術と若者の起業に強い情熱を持って、ITパークを何百人もの若者が働く活気ある場所にすることに力を注いだ。徳島大学のコンピュータエンジニアリング(自然言語プロセス)の修士・博士号、オーストラリア・キャンベラ大学のMaster of Management(取得)。1999年、オーストラリアのウォロンゴン大学で電工工学の一等士号を取得。

GMBPGM tEChOvision 創業者、オーナー
ギャリー・ビックル 氏

ギャリー・ビックル教授はアジア市場のベテラン。1988年に初めて来日し、1990年から在留。過去に触媒について学んでいたため、日本の自動車、トラック、二輪車のOEMで、規制強化に対応する公道外プロジェットの先頭に立つ。2010年、フォード・モーター社の要請に応えるために、産産コンパナーのサイクリングのための会社(GMBPGM tEChOvision)と事業ラインを設立。ESGが流行する以前からESG&Smartの原則を30年以上にわたって適用してきた。スマートシティ(京都)との関係は、アジア太平洋のスマートエクスポートとして、また京都を愛する人として、5年前にさかのぼる。

東京理科大学 栄誉教授
藤嶋 昭 氏

【プロフィール】
2003年6月 東京大学名誉教授
2005年1月 東京大学特別名誉教授
2006年3月 日本化学会会長
2010年1月 東京理科大学長
2018年1月 東京理科大学名誉教授(現在に至る)

【現在】 光機能材料研究会会長
東京応化化学技術振興財団理事長
かわさき市アカデミー理事長
【主な受賞など】1983年 朝日賞
2010年 文化功労者
2017年 文化勲章

地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長
公益財団法人京都高度技術研究所 理事長/京都大学 名誉教授
西本 清一 氏

1975年京都大学大学院工学研究科博士課程修了、工学部助教授、大学院工学研究科教授を経て、2006年〜2008年 京都大学工学部長・大学院工学研究科長、2012年京都大学名誉教授。2012年(公財)京都高度技術研究所理事長、2014年(独協)京都市産業技術研究所理事長。

京都大学こころの未来研究センター 特定准教授
熊谷 誠慈 氏

1980年広島市生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了、文学博士。京都大学白眉センター助教、京都女子大学専任講師を経て、2013年4月より京都大学こころの未来研究センター特定准教授。2017年4月より同センター上廣専任研究部門長。2018年、ウーナン大学スマタ教授兼任。専門は仏教哲学(インド、チベット、ブータン)およびボン教研究。主要著書にThe Two Truths in Bon (Kathmandu: Vajra Publications, 2011)など。

平安女学院大学国際観光学部 特任教授/京都大学 名誉教授
高橋 義人 氏

1973年慶應義塾大学大学院文学研究科独文学専攻単位取得。1972年慶應大学文学部独文学科助手。1976年京都大学教養部助教授を経て、1992〜2008年京都大学大学院人間・環境学研究科教授。2008〜2009年京都大学大学院人間・環境学研究科 学際教育研究部長。2009年〜現在平安女学院大学国際観光学部特任教授。国際ゲータ協会元理事、国際異文化交流漢学会前副会長。主著に「形態と象徴」(岩波書店)、「Dイッ人のこころ」(岩波新書)などがある。

聖徳大学 教授/お茶の水女子大学 名誉教授
徳丸 吉彦 氏

東京生まれ。美学と音楽学を東京大学とラヴァール大学(カナダ)で学ぶ。お茶の水女子大学(モントリオール大学・カリフォルニア大学サンゼレン校教員教授)、放送大学を経て、現在は聖徳大学教授(音楽学)・お茶の水女子大学名誉教授。国際交流基金のプロジェクト「アジア伝統芸能の交流」の監修者の一人。最近の日本語の著作:「音楽とは何か:理論と現場の間から」(岩波書店、2008)など。

国際高等研究所 学術参与/京都大学 名誉教授
長尾 真 氏

京都大学第23代総長、情報通信研究機構理事長、国立国会図書館長などを歴任。専門は自然言語処理・画像処理・パターン認識、機械翻訳国際連業、言語処理学会を設立。レジオンドヌール勲章シュヴァリエ章、日本国際賞を受賞。文化功労者。日本学士院会員。前国際高等研究所所長。2018年に文化勲章受章。

ザハ・ハイドアーキテツク 主任建築家
井関 武彦 氏

建築家。ザハ・ハイドアーキテツクに所属し、ロンドンを拠点にイギリス国内外の公共プロジェクトを手がける。新国立競技場案、ムンバイ新国際空港を担当。京都大学修士課程を修了後、ロンドン大学大学院にてディプロマ取得。英国工立建築家協会特認会員。

BSIグループジャパン株式会社 認証事業本部 本部長
西中 宏 氏

大日本スクリーン製造株式会社(現・株式会社SCREENホールディングス)入社、2003年 エフエムネットワーク株式会社を経て、2007年 BSI グループジャパン株式会社入社。認証事業本部 本部長として、全国各地の組織に向けたISO認証サービスを提供。ISO 9001、ISO 14001、ISO 45001等の認定主任審査員資格を保有。

株式会社フットワーク 代表取締役社長
澤邊 芳明 氏

1973年東京生まれ。京工芸繊維大学卒業。1997年に「1→10(フットワークデザイン)を創業。現在は、ロボットの言語エンジン開発、日本の伝統文化と先端テクノロジーの融合によるMixed Arts(複合芸術)、バラスポートとテクノロジーを組み合わせたCYBER SPORTS など、多くの大型プロジェクトを手がける。2015年「日本財団バランシングサポートセンターのクリエイティブディレクション」、2016年の「オリンピッククワッドランドパートナー・セレモニー」ではコンテクスツとして「POSITIVE SWITCH」を佐々木文氏と共に発案。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、入賞メダルデザイン審査員を務めている。

inn3 CEO
ベンジャミン・ジャン 氏

ベンジャミン氏はPRリビューとオープンプロジェクトマネジメントに焦点を当てているオープンイノベーションコンサルティングであるinn3のCEOであり、オープンモデルを通じて法律部門の変革を促進するフランスの非営利組織である「Open Law」、Le droit ouvert」の会長です。本人は、様々な問題にイノベーション(10のオープンソース・サマソ・ヨーロッパの「共有と再利用会議」、OGPサミット)の専門家として定期的に出席しています。inn3でのマルチタスクに加え、多数の大学で知的財産法を教えており、またはScience Po Parisの講師(マイトル・コフエンス)、Framasoftの理事、年次会議サミット「欧州オープンソースおよびフリーソフトウェアイベント」(BOLE)の共同創設者でもあります。最近、ベンジャミン氏はメナチア契約を共同で執筆しました。

IVIDO CEO
ハンス・ニンディーカー 氏

ヘルスケアの起業家。人々に感動を与え、革新的なソリューションを創造。患者/クライアントと医療専門家との関係を、優れた医療結果、有意義な使用、効率的な医療ネットワークプロセスをもたらす。高パフォーマンスの医療ネットワーク組織を創造する。Ivido Personal Health Environment (www.ividoni.nl)創設者、HINQ-Health Innovation Cooperation理事長。高パフォーマンスヘルスケアネットワークの作成(www.hinq.nl)慢性疼痛ヘルスケアのプログラムマネージャーであり、適切なケアを適切な場所で行う。

SDPlex Co., Ltd. CEO
ノ・ジュファン 氏

ノ・ジュファン博士は、韓国を拠点とするITの専門家で、Samsung、LG、Ciscoなどのグローバルな高技術メーカーや、リアルタイムミッションクリティカルコントロールシステムを設計するIntelなどと20年以上の専門的経験を有する。市民に効率的なサービスの提供を目指すスマートシティ設計におけるIoTとビッグデータの統合方法に焦点を当てた釜山市と瀋陽市のスマートシティプロジェクトに関する政府委員会の諮問委員を務める。米国スタンフォード大学の修士号と博士号を取得。

内閣府 企画官
吉川 和身 氏

1993年、厚生省入省。以後、主に環境省において廃棄物処理・リサイクル、大気保全、地球環境対策、環境研究・技術開発、除染等を担当。2017年7月、内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付参事官付企画官。

総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 課長補佐
吉田 智彦 氏

旧郵政省入省後、主に情報通信分野の国際関係業務に従事。平成29年7月から情報流通行政局にてスマートシティの推進事業を担当。

経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐
眞柳 秀人 氏

2003年経済産業省に入省。宇宙産業や製鉄等の産業分野に従事した後、山口県庁に出向し新産業振興を担当。その後、原子力政策担当を経て、2018年6月より現職。電動車やコネクテッドカーの普及促進、MAAS市場の活性化と自動運転技術の社会実装表現など、自動車産業を取り巻く様々な潮流への政策対応を担当。

国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室 課長補佐
酒井 祐介 氏

2007年国土交通省入省。これまで、道路、港湾、交通関係の業務に従事。都市関係では東日本大震災における津波避難実態調査や津波防災まちづくり計画に係る業務に従事。2019年4月から現職。スマートシティや都市交通調査等を担当。

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル
東 博暢 氏

日本の成長戦略の基盤となる先進性の高い技術やビジネスアイデアの事業化を支援し、イノベーションを推進する異業種連携の事業コンソーシアム[Incubation & Innovation Initiative]を組織し全体を統括。近年では、IIIと自身体を連携し、未来Smart City Challengeを実施。地域の社会課題を新たなアイデアや技術を活用し解決する取り組みを通じ、住民のQoL向上に取り組んでいる。スマートシティに関連する内閣府等の政府委員、自治体の審議会等の委員を歴任。

茨城県 産業戦略部 技術振興局 科学技術振興課 課長
宮本 善光 氏

1997年4月 茨城県庁入庁
2019年4月 産業戦略部技術振興局科学技術振興課長

広島県 総務局 情報戦略総括監
桑原 義幸 氏

昭和56年3月 カナダ(ブリティッシュコロンビア)大学研究留学
昭和57年3月 大阪電気通信大学工学部精密工学科卒業
昭和61年1月 日本デジタルクラブ(現日本IT)代表取締役
平成5年11月 EDS Japan(現日本IT) 広島県CIO
平成9年9月 KPMG(トーマツウツク)ディレクター
平成11年9月 アーサーアンダーセン パートナー
平成15年12月 金融庁情報統括責任者(CIO)補佐官
平成17年4月 金沢工業大学大学院工学研究科 客員教授
平成19年1月 インターフュージョン・コンサルティング創業者兼代表取締役
平成23年4月 広島県CIO
平成24年5月 福岡市ICTアドバイザー
平成27年11月 原子力規制委員会最高情報セキュリティアドバイザー
平成28年 6月 広島県情報戦略総括監(現職)

東京都 戦略政策情報推進部 ICT推進部 情報企画担当部長
荻原 聡 氏

2019年4月、情報企画担当部長を拝命。主な担当は、ICTを活用した都民サービスの向上や都庁内の業務の効率化に取り組むと共に、東京都全体の高度情報化の企画と推進。本年3月までは、シスコシステムズ合同会社で、政府渉外として政府、中央官庁、地方公共団体に対して、様々な政策提言をおこなう。

三重県 知事
鈴木 英敬 氏

1974年兵庫県出身。東京大学経済学部卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。2011年三重県知事に当選。2015年及び2019年に再選し、現在在任中。全国知事会危機管理・防災特別委員会委員長、日本忍者協議会会長、全国海女文化保存・振興会議会長等に就任。2014年度世界経済フォーラム ヤング・グローバル・リーダーズに選出。2016年6月「ベスト・フューチャー・イニシアチブ」を受賞。家族はシクロクロイスイミング五輪メダリストの妻・武田美保と一男一女。現職知事では初めて第一子、第二子とも育児休暇を取得。

神戸市 保健福祉局健康政策課 健康創造担当課長
三木 竜介 氏

1990年から中高とアメリカで過ごす。2002年九州大学医学部卒業。以後16年間地域の中核病院にて臨床に従事。専門分野は循環器、救急、集中治療。2016年から京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻に進学。公衆衛生や疫学を専攻。臨床研究法と政策のための科学を副専攻とし、2018年社会健康医学系修士(専門職)を取得。同年4月より現職。

西条市 総務部 ICT推進課 副課長
渡部 誉 氏

1971年愛媛県西条市生まれ。47歳。市税・企画・財政・教育委員会分野を経て現職。現在、「スマートシティ西条」の実現に向け、市全体の情報化に従事。国立女性教育会館「女性教員の活躍推進に関する調査研究検討委員会(2017〜2018)」内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術学習支援技術分科会委員(2019〜)」

一般社団法人 益田サイバースマートシティ創造協議会 専務理事
豊崎 慎久 氏

米ソファチャイルド社、ソーニー・セミコンダクタ社、米シグネックス社、蘭フィリップス・セミコンダクタ社などを経て、米ISOシグナ社でストラテジック・マーケティングとして活躍。その後、米カーナー社のプリンシパル・アナリスト、米企業役員などを歴任。現在、アーキテクトランドデザイン株式会社ファウンダー チーフアーキテクトに着任。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特別招聘教授。独IP500アライアンスの日本・アジアパシフィックの代表を務めた。

鳥取県 生活環境部 環境立県推進課 次世代エネルギー推進室長
藤木 慎一郎 氏

公共交通、危機管理、広報・観光、情報政策といった今回の発表に関わりの深い所属を経て今年7月より現職。

一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 事務局長
青田 真樹 氏

大学卒業後、(財)京都ユースホテル協会へ入職し、青少年育成、旅行事業、組織マネジメント業務などを担当。2014年に退職後、南丹市美山町を軸に地域住民と行政や教育機関、企業、各種団体の架け橋となる。現在は一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会に在任し、京都丹波高原国定公園ビジターセンターの運営に関わる他、NPO等での地域活性化に関する活動にも取り組んでいる。

経済産業省 製造産業局 自動車課 自動車戦略企画室 課長補佐
佐藤 吉信 氏

関西電力株式会社 地域エネルギー本部 副本部長
岡田 重樹 氏

昭和59年3月神戸大学経済学部卒業。同年4月関西電力株式会社に入社。地域共生・広観室チーフマネジャー、原子力事業本部地域共生部長を経て、平成30年6月より現職(理事 地域エネルギー本部副本部長)。現在は、主に、スマートコミュニティ、VPP(Virtual Power Plant)に関する業務を所管。

トヨタ自動車株式会社 東京技術部 担当課長
酒井 ゆう子 氏

調査部、渉外部、ITS企画部、環境部で官庁渉外を担当。近年は国内外の資源循環政策と、部品や材料の再資源化方法とリユースについて取り組む。2019年4月より現職。環境と技術をスコープに、電動車の電動化を活用した社会の推進に関わる案件を担当。

株式会社本田技術研究所(ライフクリエーションセンター エネルギーマネジメント担当) 執行役員
岩田 和之 氏

・1986年明治大学工学部卒、本田技研工業株式会社入社。ライディングシミュレータの研究開発を経て株式会社本田技術研究所に異動。
・初代i-VTECなどのエンジン設計に従事。その後アコードPHEV・Fit EVなどの開発を経て、2012年から超小型EVの開発を陣頭指揮。
・2013年本田技研工業株式会社に入社。スマートモビリティ/コミュニティ分野の事業化を担当。
・2016年4月、株式会社本田技術研究所に異動し執行役員就任。現在に至る。

日産自動車株式会社 渉外部 担当部長
堀江 浩史 氏

1966年大阪生まれ。1989年日産自動車入社。以降4年半の米国開発拠点(デトロイト)駐在を含む約20年間、車両プラットフォーム計画/設計、車両計画/性能実験、EV先行車両開発など開発の幅広い領域を経験。2009年から渉外部にて電動車関連のグローバル渉外業務を統括。

三菱自動車工業株式会社 商品戦略本部 執行役 商品戦略本部長
岩本 和明 氏

1963年生まれ 1986年3月 東京大学工学部航空学科卒業
1986年4月 日産自動車株式会社 入社
2016年4月 三菱自動車工業株式会社 商品戦略本部 副本部長
2017年4月 三菱自動車工業株式会社 グローバルリスク担当執行役員
2019年4月 三菱自動車工業株式会社 執行役員 商品戦略本部長
2019年6月 三菱自動車工業株式会社 執行役 商品戦略本部長

日本電信電話株式会社 取締役 技術企画部門長
岡 敦子 氏

2010年7月 エヌ・ティ・エナジス株式会社代表取締役社長
2012年7月 エヌ・ティ・エナジス株式会社 経営企画部統合カスタマーホール開発タスクフォース担当部長
2015年8月 同社 経営企画部iD推進室長
2017年7月 エヌ・ティ・エナジス株式会社 取締役 ビジネスプラットフォーム事業部長
2017年10月 同社 取締役ソリューション事業部長
2019年6月 日本電信電話株式会社 取締役 技術企画部門長

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授
中村 伊知哉 氏

1961年生まれ。京都大学経済学部卒。慶應義塾大学で博士号取得(政策・メディア)。1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。1998年 MITメディアラボ客員教授。2002年 スタンフォード日本センター研究員。2006年より慶應義塾大学教授。内閣府知的財産戦略本部、文化審議会著作権分科会小委などの委員を務める。CIP協議会理事長、吉本興業社外取締役、理化学研究所AIPセンターコーディネーター、東京大学客員研究員などを兼務。iU(設置認可申請中)学長就任予定。著書に「超ヒメ社会をつくる」(ヨシモトブックス)など多数。

株式会社博報堂DYホールディングス マーケティング・テクノロジーセンター室長
青木 雅人 氏

・1989年博報堂入社
・マーケティングセンターチームリーダー・買物研究所所長・ショッパリアルマーケティング部長を経て、2016年より、博報堂DYホールディングス「マーケティングテクノロジーセンター」室長(兼)博報堂「研究開発局」局長・社会/生活者研究、買物行動研究から、データマーケティング、マーケティングテクノロジー領域の研究開発を推進。